キャロットクラブ

募集馬見学ツアーで将来のスターホースを探そう
会員に嬉しい母馬出資者優先制度も魅力

昨年のダービー馬レイデオロが、秋初戦のオールカマーを快勝。天皇賞・秋で期待を集めるとともに、マカヒキとのダービー馬対決も楽しみだ。また、2歳世代は野路菊S勝ちのカテドラルを筆頭に、すでに21頭が勝ち上がり。27日の萩Sに出走のサートゥルナーリアも注目の一頭であり、今後の活躍が期待される。

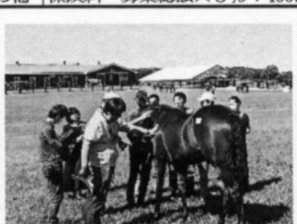
同クラブは「Our Blood」をモットーに、血統のスポーツと称される競馬の魅力を提供している。血統を追い求める上で、母馬に出資していた会員に対し「母馬出資者優先制度」を設けている。ちなみに、レイデオロの母であるラドラーダは同クラブで競走生活を送り、マイル前後で4勝を挙げ、ヴィクトリアマイルにも出走していた。そのラドラーダに参加していた会員は、産駒へ優先的に申し込みを行うことが可能となるのだ。もし、母に出資していれば、当然子に愛着が湧き、より出資検討に力が入ることだろう。

会員になると、毎年募集時期に開催される募集馬見学ツアーに参加でき、全募集馬を自分の目で見ることができる。完成された競走馬をパドックで見る感覚とは違い、1歳馬はその後の成長を想像する楽しみがある。想像力を働かせるために、いかに父や母のイメージを持つかが大切である。ツアー参加者は真剣に馬を見たり、牧場スタッフに質問するなどして、将来のスターホースを探し求める。その熱心な姿に、私も圧倒されるばかりだ。

実は、ツアーでは高校や大学の同級生に会うことも。あった。高校の同級生には、10年以上会っていなかったので、声を掛けられた時には驚いた。高校から競馬を見るようになった彼が、クラブライフを楽しむまでに深く付き合うようになった姿を見て、うれしく思った。大学の同級生は、毎年のようにツアーで会い、どの馬が良く見えたかをお互いで確かめ合う。学生当時のパドックを思い出した。

ラドラーダの他にも、シーザリオ、クリソプレーズといったG1馬を送り出す名繁殖を中心に、その血を脈々とつなげている。若い馬を見るのも勉強の一つ。そして、ツアーに参加すると、競馬場とは違う出会いと楽しみがある。この機会にキャロットクラブにご注目いただきたい。

諸経費　※全400口募集（地方入厩馬は全100口）	
項目	費用詳細（税込み）
初期費用	入会金　21,600円　※クラブ新規入会時のみ
	一口出資金額（一口馬代金）
月費用	クラブ会費　3,240円　※複数頭数・複数口数でも同額
	預託維持費　約60万円÷400口＝約1,500円／月 ※2歳1月分から請求
その他	保険料　募集総額×3％÷400口（2歳時例、年1回）



ツアーでは馬と触れ合いながら出資検討が可能

募集時の17年ダービー馬レイデオロ

株式会社キャロットクラブ
☎03・3524・5061
URL　https://carrotclub.net/
東京都中央区銀座4－14－6
ギンザエイトビル5F

HPはこちらから